

【議題②】

＜医師バンクの取組状況＞

千葉県では、県からの委託を受け、NPO 法人千葉医師研修支援ネットワークに、

- ・千葉県ドクターバンク
- ・千葉県シルバードクターバンク
- ・女性医師就業相談窓口

が設置されております。千葉県医師会内にはドクターバンクはありません。

千葉県医師会は、令和2年度から4年度まで、日本医師会女性医師バンクのモデル事業として、「日本医師会女性医師バンク千葉分室」を設置しておりました。

当時、日医女性医師バンクから千葉県内の医療機関(会員外含む)へ、千葉分室を設置についてチラシ送付等で周知したため、モデル事業終了後も県内医療機関から求人についての問い合わせがあります。その都度、日医女性医師バンクを紹介・登録方法の案内を行い、コーディネーターへ連絡を入れております。また、併せて、千葉県ドクターバンクを紹介しております。

求職や再研修・復帰等の相談連絡があった場合は、千葉県ドクターバンク、女性医師就業相談窓口を紹介し、担当者へ申し送りをしております。

＜女性医師支援の取組状況＞

令和5年度男女共同参画推進委員会の取り組み

- ・なのはな交流会の開催

千葉県医師会なのはな交流会は、「女性医師として働き続けるために、女性医師と共に働き続けるためには」をメインテーマとして、県内大学病院のキャリア支援等の取り組みについて発表していただいた後、医師会の取り組みや仕事等について講演し、ワールドカフェスタイルにて意見交換をしております。参加者は、若手医師（臨床研修医、専攻医、産休・育休中の医師、医学生等）のほか、指導医、委員会委員等となっており、毎年、活発な意見交換を行い、医師会の仕事についても理解を深めていただく機会となっております。

研修会や会議スタイルでは、若手医師の悩み、意見などを具体的に聞く機会が持てませんが、ワールドカフェスタイルということもあり、全員が意見を出し、気軽に発言していただき、委員会委員や指導医などが自らの経験を話し、アドバイスしたり一緒に悩んだり考えたりする機会となっております。ここで出た意見をもとに次年度の委員会事業に反映することもあります。

- ・男女共同参画懇談会の開催

女性医師の就労支援、キャリアサポート、勤務整備等を目的として、年1回開催しております。

令和5年度は、今までの女性医師メインのテーマを変更し、「医療機関におけるLGBTQへの対応」をメインテーマとし、LGBTQについて判例事例を用いての説明、医療機関での

対応、また、様々なハラスメント対策について講演を行いました。

懇談会後には医学生、研修医等を含めた医師等により、女性医師のキャリア継続支援、ハラスメントの実情や対策について意見交換を行い、交流を深めました。

期間限定でYouTube動画を掲載、医療機関での院内研修等で使用していただくなど、県内医療機関管理者に活用していただきました。

【議題③】

・タスクシフト/シェア導入について

タスクシフト、シェアを導入している医療機関は増えているが、女性医師に特化して導入しているケースは見受けられません。

医師事務作業補助者や特定看護師等の配置などが進められています。

・男性育休について

大学病院から県内の病院に派遣されている医師より、「妻（医師）の出産後、育休を取得したいと考えていたが、派遣先での勤務日数が規定に足りないため育休の取得は認められず、出生時育児休業給付金は出ないと説明があった。給付金についてどうにかならないか。」という相談がありました。

社労士等に確認しましたが、給付金は出ないとのことでした。

大学病院等の医師が派遣される場合、こうしたケースが生じることがあります。女性医師だけでなく、男性医師が育休取得を希望することも増えているため、今後の対策について検討する必要があると考えます。

・シニアドクターの活躍について

定年後も継続して勤務するよう、病院側が働きかけるケースが多くみられます。

研修病院では、新規にシニアドクターを採用するケースはないようです。

医師不足となっている地域で、シニアドクターに非常勤勤務などを斡旋できる仕組みができればよいと思います。